

日帰り手術の費用概算・・・2012年4月（保険点数の改訂）

1ヶ月間に当院でお受になった医療費（保険診療分のみ）が下記限度額を超えた場合に、それ以上の費用が支払いの免除（事前申請した方、別紙参照）または後日還付（この場合は退院時に一時全額お支払い）になります。最終的に手術費用の全額をご負担する訳ではございません。

<自己負担額>

- ・ 上位所得者（報酬月額53万円以上）・・・自己負担限度額：15万円（保険診療分のみ）
- ・ 一般所得者（報酬月額53万円未満）・・・自己負担限度額：80,100円（保険診療分のみ）

不妊精査目的の腹腔鏡手術・・・約20万（保険11万＋自費9万）

内訳（保険）：手術＋薬剤費用 約8万円、全身麻酔費用 約3万円

（自費）：入院費用（個室）31500円＋不妊特殊検査63000円（※下記参照ください）

※両側腹腔鏡下卵管形成術の場合・・・約40万（保険31万＋自費9万）

子宮内子宮筋腫の子宮鏡下手術(TCR)・・・約12万（保険9万＋入院費用（個室）31500円）

子宮内ポリープの子宮鏡下手術(TCR)・・・約7万（保険4万＋入院費用（個室）31500円）

- 子宮鏡下手術の場合、術後の子宮内の癒着を予防するためにFD1という器具を挿入する場合があります。その際は、この器具は自費材料で31500円かかります。

卵管鏡下卵管形成術(FT)・・・約36万（下記限度負担額で80100円）

- ※ 腹腔鏡手術に卵管鏡下手術を併用した場合、高額医療費還付をお受けになれば、実質の追加負担は0円（上位所得者は約6万円負担）で施行可能となります。

複数手術を併用した場合

- 子宮鏡下手術(TCR)と卵管鏡下手術(FT)を併用しますとTCRは保険が利きません。
その場合にはTCR自費(約3万)となります・・・自費でも保険の時とほとんど変わりません。
腹腔鏡＋卵管鏡手術および腹腔鏡＋子宮鏡手術は保険の併用が可能です。
保険診療分に関してはいずれも、上記の限度額医療費控除をお受けになれます。

その他

- 医療用の弾性ストッキングは自費で4200円かかります。基本的に手術時にご購入いただきます。
- 不妊検査の場合、手術と同時に保険外で以下の特殊検査を行います（63000円）

卵管内を観る卵管鏡検査(31500)、子宮内を観る子宮鏡検査(10500)

精子輸送テスト(人工授精併用)で腹腔内での精子の検査(21000)

※ 不妊精査または不妊治療の一環で腹腔鏡を行う場合、この検査は必須項目となります。

※ 手術申込金5万円をお預かりしている方は上記から5万円引きで清算となります。